

さとうまさる

佐藤勝は昭和3年(1928)5月29日に父熊次郎、母初代の4

くまじろう

はつよ

男2女の末っ子として留萌に生まれました。家は留萌一の

すえ

料亭(※5)「日勝亭」を経営していました。

りょうてい

にっしょうてい

けいえい

くまじろう

おたる

父熊次郎は小樽の出身で小樽中学校を卒業後、鉄道、

おたる

そつぎょう

郵便局に勤めていました。しかし、増毛の佐藤末吉に子ども

ゆうびんきょく

つと

さとうすえきち

がいなかったことから、親類から養子(※6)に迎えていた初代

しんるい

ようし

むか

はつよ

と結婚し、明治42年(1909)に留萌に移り、料亭を営しました。

けっこん

めいじ

うつ

りょうてい

けいえい

※5 料亭

りょうてい

主として日本料理を出す高級な料理屋。

りょうり

こうきゅう

りょうりや

※6 養子

ようし

血のつながらない子どもをもらって、自分の子どもとして育てた子。

しかし、^{まさる}勝が^{はつよ}初代のお腹に^{なか}いるときに、^{じゅうらい}従来この商売が

^{しょう}性に^あ合わなかつた（※7）^{くまじろう}熊次郎は^{はつよ}初代と^{わか}別れることとなり

ました。

後に父がいないことを母に^{たず}尋ねると、「^{せんそう}戦争に行っている。」

と答えていたと話しています。

^{にっしょうてい}日勝亭の^{けいえい}経営は^{じゅんちょう}順調であつたらしく、昭和8年(1933) 8

月8日に行われた「^{こうかんせいしゅくが}留萌港完成祝賀会」の会場はこの^{にっしょうてい}日勝亭
でした。

※7 ^{しょう}性に^あ合わない

^{この}好みでない。^{きしつ}気質に合わず、心地がよくない。

になしやうてい にちろ せんそう しやうり
ちなみに「日勝亭」という店名は日露戦争(※8)に勝利した

すえきち
ことから末吉が名づけたといわれています。



になしやうてい すえきちろ
生家の日勝亭と父熊次郎

にちろせんそう
※8 日露戦争

めいじ めいじ ちやうせん だいかんていこく
明治 37 年 (1904) から明治 38 年 (1905) までの朝鮮 (大韓帝国)・
まんしゆう しはい せんそう
満州の支配をめぐる日本とロシアとの戦争。